



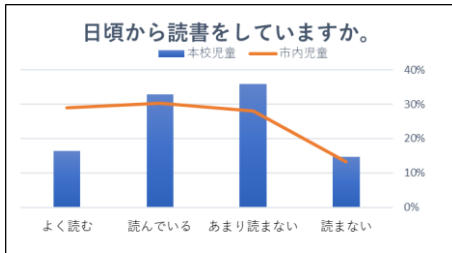
南行通信

令和6年10月3日
校長 中村 由美子



～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

校庭のあちらこちらから虫の音が聞こえる季節になりました。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など様々な「秋」があります。気温22℃前後が集中力・生産性の上がる気温で、パフォーマンスが向上するという研究結果もあり、秋は勉強するにも読書・運動をするにもってこいの季節のため、様々な「○○の秋」があるようです。



さて、「読書の秋」南行徳小学校の子どもたちにとって「読書」はどのようなものでしょう。

左のグラフは、令和6年6月に行った読書習慣に関する調査の本校と市川市内平均との比較です。この結果から、南行徳小学校の子どもたちは、市内の他の学校の子供たちより本を読む機会が少ないことがわかります。

本校の学力調査の結果(裏面)では、千葉県や全国とほぼ同程度の正答率ですが、「書く」項目については、若干下回っています。「書く」力を高めるためには文章に多く触れることが重要です。読書をするすることで、様々な文章を読み語彙力や表現力、想像力などが高めることができます。さらに、イギリスのサセックス大学の研究結果では、1日6分の読書でストレスが68%も軽減すると示されています。それは、音楽鑑賞やコーヒブレイクより読書のほうがストレス減少効果が高いのだそうです。

学校では、図書委員会が毎月イベントを計画し、本に触れる機会を作っています。「ありんこ」さんや「みなみっ子サポーター」による読み聞かせもあります。また、帯学習の時間や各自の課題が終わった後に読書タイムを設けています。ぜひ、ご家庭でも「読書の秋」にしていだけたら幸いです。



図書委員会



ありんこ読み聞かせ

お話ポストについて

校長室の入り口わきにポストがあります。

「困ったこと」「悩んでいること」等校長へ伝えたいことを手紙に書いて投函できるようになっています。かなり以前から設置されていたのですが、ポストがあることを知らない子供たちが多くいました。11日の前期終業式にPRをします。子供たちの悩みを一緒に考える方法の一つにしたいと思っています。



心配しています。

最近、放課後の過ごし方でのトラブルが多く起きています。大きなトラブルにならないように学校で指導しているところですが、ご家庭でもお子さんの遊び方についてご確認ください。

・お金やコインを巡るトラブル

おごるおごられる、お金を貸す借りる、おうちの方に無断でお金を持って遊びに行くなどで友達同士のトラブルがあります。また、ネットゲーム課金でのトラブルもあります。友達にゲームコインをあげたりもらったり、会ったことがないネット上の友達にコインを送っているケースもありました。

・公園でのトラブル

公園のルールを守らず遊んでいて小さな子にけがをさせてしまった、自転車のかごに大切なものを入れてたまま遊んでしまいなくなったなどがありました。

南行徳小学校の子供たちを数字で見ると・・・

○全国学力・学習状況調査から

4月に全国の6年生を対象にした学力調査の結果です。本校の平均正答率は、千葉県および全国とほぼ同程度となっています。

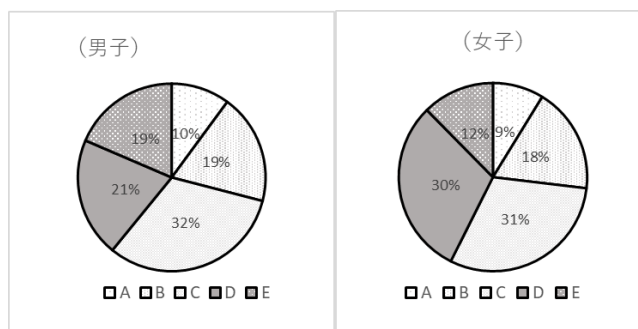
平均正答率 (%)	本校	千葉県	全国
国語	68	67	67.2
書くこと	65.5	66.9	68.4
算数	67	63	63.4

質問紙調査では、教科の学習が好きかどうかという質問に、国語は「好き」と答えた子供が少なく、「好きではない」と答えた子供が多くいます。子供が国語を「好き」と思える学習ができるような授業を行えるよう努力していきたいと考えます。

質問紙調査	本校 (千葉県)	あてはまる	あてはまらない
国語の勉強は好きですか。		14.9 (22.9) ↓	18.4 (14.0) ↑
国語の授業の内容はよくわかる。		58.6 (58.6)	6.9 (2.9)
算数の勉強は好きですか。		32.2 (31.6) ↑	12.6 (19.8) ↓
算数の授業の内容はよくわかる。		39.1 (42.5)	3.4 (5.6)

○新体力テストから

6月に全学年で運動能力について調査を行いました。本校の子ども達の結果を見ると、全国平均と比較してほぼ同じくらいの結果となっています。個人の結果を見るとD・E判定が全体の4割を占めました。しかし、同時に実施したアンケートでは、「運動やスポーツをすることが好き」と答えた子が87%「運動やスポーツをすることが得意」と答えた子も73%でした。「好きこそもの上手なれ」という言葉があります。「好き」と思う気持ちを大事にして、体を動かす楽しさを味わう体育の授業や休み時間を使った外遊びの推奨に取り組んでいきます。「1日のテレビやゲームの時間が2時間以上」が全体の半数を占め、25%が「3時間以上」と答えています。スポーツ庁が実施した令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、学習以外のスクリーンタイムが長時間になると、体力合計点が低下する傾向がみられることがわかりました。つまり、テレビやゲームの時間が長いと体力や筋力が弱っていく可能性があるということです。



子ども達の力を育むには、学校だけでは成り立ちません。ぜひ、ご家庭でも読書や体を動かす遊びなどに取り組んでいただければ幸いです。

1年生シャボン玉教室

9月25日 生活科の学習としてシャボン玉教室を行いました。

講師の中村先生が作ってくれた特製のシャボン玉液にロープを浸して大きな大きなシャボン玉を作りました。初めて作った大きなシャボン玉に大喜びの1年生でした。



ブランコ先生と勉強をしています。

南行徳中学校のALT ジョシュア・ブランコ先生が、6年生と英語の学習をしました。いつもは、外国語指導員と担任が授業を行います。ブランコ先生がいる日は、ブランコ先生と担任とで授業を行います。ブランコ先生の英語での質問に少しためらいながらも一生懸命英語で答える6年生でした。10月もブランコ先生の授業があります。

